

## 事業報告書

平成27年4月1日から

平成28年3月31日まで

### I. 概況

今年度の事業活動は、展示部門では1階主展示室において、春季には「高麗茶碗」を、また秋季には「野村得庵展 ―ある近代数奇者の軌跡―」と題し館蔵名品等を展示しました。また、今年3月5日春季開館からは、「書を愛でる ―茶の湯の掛物―」をテーマとした企画展示を行いました。

地階展示室においては、27年春に「吉澤義則の世界」及び「赤絵・金襴手」秋に「竹を生かす・茶杓と竹花入」と題し、館蔵品の展示を行いました。また個展として、秋には千慶熙氏が「二代陶泉 千慶熙高麗茶碗展」、山崎脩・甲斐玲子両氏が「幽展 山崎脩・甲斐玲子」、村田浩一郎氏が「刹那 SETSUNA Tea bowl」、杉本貞光氏が「杉本貞光陶展」、利茶土ミルグリム氏が「利茶土の茶陶 ―EAST MEET WEST IN KYOTO―」、山岡徹山氏が「山岡徹山 茶陶展」、吉基貞氏が「吉基陶芸 吉基貞茶陶展」を開催され、各展ともに好評でした。

展示部門以外では、地階ホールにおいて春季3回、秋季3回、計6回の講演会を催し、館外から遠州茶道宗家 13 世家元 小堀宗実氏 総合地球環境学研究所 エマニュエル・マルス氏、泉屋博古館 上席研究員 外山潔氏、大阪芸術大学名誉教授 田中敏雄氏の各先生方と当館からは館長の谷晃、学芸課長の桐山秀穂を講師とし、充実した講演会を開くことができました。

その他の事業活動としては、「研究紀要」第25号を発刊いたしました。読書会等も「茶会記を読む会」を10回、「古筆の会」を10回、「新茶文化講座」を6回、また新規講座として「工芸を見る会」を3回開講しました。

入館者数の状況は14,985名と、昨年度実績を若干下回りましたが、事業収入は、館蔵品貸出やセミナー会費等の売上の伸長により当初予算を22%上回る事ができました。

### II. 各事業の実施状況

#### 1. 展示部門

##### (1) 野村美術館本館（1階展示室）

##### ➤ 「高麗茶碗」 4月1日（土）～6月7日（日）

多くの種類がある高麗茶碗を、これまでの調査研究から生産時期によって分類し初期（16世紀中ごろまで）、中期（16世紀後半～17世紀前半）、後期（17世紀後半）に分類して、高麗茶碗の変遷を展示した。

《主な展示作品》 【※ 前期展示品は 前、後期展示品は 後 と表記】

初期 井戸茶碗 銘 坂本（朝鮮王朝時代 16 世紀 前）・粉引茶碗（朝鮮王朝時代 16 世紀 前・後）・三島茶碗 銘 土井（朝鮮王朝時代 16 世紀 前）等。

中期 彫三島茶碗 銘 池水（朝鮮王朝時代 16 世紀 後）・黄伊羅保茶碗 銘 武蔵野（朝鮮王朝時代 17 世紀 前）・狂言袴茶碗（朝鮮王朝時代 17 世紀 前・後）・絵御本茶碗（朝鮮王朝時代 17 世紀 前・後）等。

後期 立鶴茶碗（朝鮮王朝時代 17 世紀 前）・茂三茶碗（朝鮮王朝時代 17 世紀 後）・御本判使茶碗 銘 いすか（朝鮮王朝時代 17 世紀 後）等。

▶ 「野村得庵展 -ある近代数奇者の軌跡-」

得庵が美術品を蒐集した歴史を追いながら、美意識の深まりをたどり、あるいは得庵の茶会を展示で再現した。

《主な展示作品》

前期 9月5日（土）～10月18日（日）

練上志野茶碗 銘猛虎（桃山時代 17 世紀）沢庵宗彭筆 夢語（江戸時代 17 世紀）・【重要文化財】雪村周継筆 風濤図（室町時代 16 世紀）・山本梅逸筆 百花百虫図（江戸時代 19 世紀）・伝源家長筆 竜田切（鎌倉時代 13 世紀）・上杉瓢箪茶入（南宋時代 12～13 世紀）・青貝天下泰平文字香合（明時代 16 世紀）等。

後期 10月20日（火）～12月6日（日）

【重要文化財】佐竹本三十六歌仙 紀友則（鎌倉時代 13 世紀）・御本立鶴茶碗（朝鮮王朝時代 17 世紀）・【重要文化財】宗峰妙超筆 白雲偈頌（室町時代 14 世紀）・伝藤原佐理筆 筋切通切（平安時代 12 世紀）・呉洲赤絵菊兔香合 銘裾野（明時代 17 世紀）・呉洲青絵竜鉢（明時代 17 世紀）等。

(2) 企画特別展（地階展示室）

- ▶ 「吉澤義則の世界」 3月7日（土）～4月19日（日）
- ▶ 「赤絵・金欄手」 4月21日（火）～6月7日（日）
- ▶ 「竹を生かすー茶杓と竹花入ー」 9月5日（土）～10月18日（日）

(3) 個展

- 千慶熙氏個展 10月20日（火）～10月25日（日）
- 山崎脩・甲斐玲子両氏個展 10月27日（火）～11月1日（月）
- 村田浩一郎氏個展 11月3日（火）～11月8日（日）
- 杉本貞光氏個展 11月10日（火）～11月15日（日）
- 利茶土ミルグリム氏個展 11月17日（火）～11月23日（日）
- 山岡徹山氏個展 11月25日（水）～11月29日（日）
- 吉 基貞氏個展 12月1日（火）～12月6日（日）

## 2.講演会

・定期講演会 6回

日程	演題	講師	参加者
3月12日(木)	「茶道宗家の四季」	小堀 宗実氏(遠州茶道宗家13世家元)	88名
4月17日(金)	「高麗茶碗について」	谷 晃(野村美術館館長)	72名
5月22日(金)	「フランス人が見た日本庭園」	エマニュエル・マレス氏(総合地球環境学研究所 研究支援員)	84名
9月18日(金)	「野村得庵 趣味と蒐集」	桐山 秀徳(野村美術館学芸課長)	71名
10月9日(金)	「住友春翠 清雅なる美の世界」	外山 潔氏(泉屋博古館上席研究員)	74名
11月27日(金)	「嘉納鶴翁と近代数寄者 -関西の数寄者の交友-」	田中 敏雄氏(大阪芸術大学名誉教授)	80名

- ・新茶文化講座 『紹鷗遺文』 6回
- ・茶会記を読む会 『松屋会記』 10回
- ・古筆を読む会 『孤篷集』『石州三百ヶ条』『野村徳庵茶会記』10回
- ・工芸を見る会 3回

## 3. 貸館事業

- ・地階展示室貸与 個展 7回
- ・茶室の貸与 茶道教室及び茶会 28回

## 4.調査、刊行

- (イ) 調査 所蔵品研究のための調査出張
- (ロ) 刊行 『研究紀要』第25号(850部)

## 5.館蔵品の補修

今期はございません

## 6.学芸員実習の受入れ

6名(3大学) 7月6日～7月10日

## 7.関連する美術館との相互割引

泉屋博古館(592名 7%)

## 8.新聞・書籍を通じての広報活動

日時	媒体名称	紹介展覧会名
2015/4～2016/3	『和楽』	「高麗茶碗」「没後70年 野村得庵展」「書を愛でる」
2015/3	京都新聞 朝刊	「吉澤義則の世界」展
2015/3	〃	「高麗茶碗」展
2015/2	『炎芸術』No121	〃
2015/3	『陶説』744号	〃
2015/3	『歩く地図 京都散歩』	〃
2015/4	『聚美』15	〃
2015/5	『日経おとなのOFF』	〃
2015/7	『SAVOY』7月号	「高麗茶碗」展「赤絵・金襴手」展 「没後70年 野村得庵」展
2015/9	京都・岡崎手帳	「没後70年 野村得庵」展 ある近代数寄者の軌跡
2015/9	『月刊 書道界』9月号	〃
2015/9	『淡交』9月号	〃
2015/9	京都新聞夕刊	〃
2015/11	『なごみ』11月号	〃
2015/12	京都新聞朝刊	〃

## 9.入館者数

(単位：)

	期間	平成27年度	平成26年度	比較
1	春季展(4月～6月)	5,390	6,279	-889
2	秋季展(9月～12月)	8,229	8,463	-234
3	春季展(3月)	1,366	1,800	-434
合計		14,985	16,542	-1,557

## 10.評議員会・理事会開催状況

### 評議員会

開催日	会議名	議案	結果
平成27年6月18日	第5回評議員会	・平成26年度決算書類の承認 ・評議員の選任について ・理事・監事の選任について	承認可決

理事会

開催日	会議名	議案	結果
平成 27 年 5 月 14 日	第 15 回定時理事会 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度事業報告</li> <li>・平成 26 年度決算報告</li> <li>・第 5 回定時評議員会招集</li> </ul>	承認可決
平成 27 年 6 月 18 日	第 16 回定時理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定款 37 条に基づく議決権の行使</li> </ul>	承認可決
平成 27 年 11 月 18 日	第 17 回定時理事会 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度事業報告</li> </ul>	承認可決
平成 28 年 3 月 24 日	第 18 回定時理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館改修計画</li> <li>・寄付金受入れ</li> <li>・特定資産振替</li> <li>・平成 28 年度事業計画</li> <li>・平成 28 年度収支予算</li> <li>・理事の推薦</li> <li>・各種規程（寄付金・特定個人情報）</li> </ul>	承認可決

(注) 決議省略については、理事全員から書面による同意の意思表示を得、監事全員に書面により異議がないことを確認したため、理事会の決議があったものとみなした。